

— ラジオ関西「聴く医療」に出演 —

船越正信先生が尼崎アスベスト問題を語る



ラジオ出演された船越正信先生

ラジオ関西番組「兵庫県保険医協会の聴く医療」に10月12日に、尼崎支部から船越正信先生(潮江診療所所長・尼崎アスベストの会会長)が「尼崎アスベスト問題とは」をテーマに出演した。

船越先生は、アスベストによる健康被害として、自力で呼吸ができなくなり死に至る“悪性中皮腫”などがあるが、発症まで10年から50年くらいかかる場合があり、“静かなる時限爆弾”とも言われていると説明した。その上で、尼崎ではクボタ旧神崎工場の周辺を中心に、既に

全国平均から比べて女性で10.4倍、男性で4.6倍以上の死亡者が出ている実態を紹介。国による救済制度はあるものの、対象が限定されていたり、補償金も少額と指摘し、被害者の完全救済のためには、規制を怠ってきた国と、アスベストを使用してきた企業の責任を認めさせることが重要と語った。最後に、健康被害を心配される方は、遠慮なく「尼崎アスベストの会」へご相談をと呼びかけた。

〈アスベストの被害からいのちと健康を守る尼崎の会〉

連絡先：06-6489-2600 (TEL・FAX 共通) まで

当日の様子は、放送後でも番組ブログや協会ホームページ (<http://www.hhk.jp/topics/2024/1001-090000.php>) からご覧いただけます。

〈今後の放送予定〉

- ・11月30日 寺島 慎也 先生 「在宅医療のい・ろ・は」
- ・12月7日 豊國 豪大 先生 「リビングウィル・ACP (アドバンス・ケア・プランニング)」
- ・12月14日 大前 隆仁 先生 「在宅医療の緩和ケア」

兵庫保険医協会の医師・歯科医師が、「今年のコロナやインフルエンザはどうなるの?」「保険証はなくなるの?」など身近な医療や健康に関する疑問にお答えします。毎週土曜日朝6時30分からは、ラジオ関西(FM 91.1MHz AM 558KHz)をぜひお聞きください。

兵庫保険医協会の
聴く医療

毎週土曜日 / AM6:30~6:44
放送期間 / 2024年10月5日~2025年3月29日

ラジオ関西 AM558 FM91.1 FM 91.1MHz AM 558KHz / 1395KHz (奥北部)

FM91.1MHz AM558KHz



パーソナリティの寺谷一紀氏

兵庫県保険医協会

尼崎支部ニュース

444号

2024年10月15日付

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1-2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5階 兵庫県保険医協会 尼崎支部
TEL078-393-1801 FAX078-393-1802

県知事選挙 県政の正常化・医療充実へ

おおさわ芳清医師と政策協定

医療・福祉充実、信頼と安心の県政へ転換を——。協会は11月17日投開票の兵庫県知事選挙にあたって、10月12日の理事会で、県知事選挙憲法が輝く兵庫県政をつくる会(憲法県政の会)が擁立した大澤芳清氏(兵庫県保険医協会理事・尼崎支部幹事)と政策協定を行った上で、支持・推薦することを承認。同日に大澤氏と「開業保険医の重点要求(案)」(10月5日付保険医新聞既報)の全項目について合意し、支持推薦を行った。

県知事選挙にあたって、協会は今次選挙をこれまで掲げてきた要求を実現するための重要な機会と位置づけ、9月14日の理事会で方針案・重点要求案を承認した。

この方針案は、現斎藤知事が掲げた、県政「刷新」は、国言いに病院、保健所、学校の統廃合を推し進めるとともに、老朽化した県庁舎を解体し、職員の出勤を4割に減らすなど極めて新自由主義的な改革であると指摘、また、県民局長の自死に端を発する県政の混乱における対応の不適切さから、住民の生命と健康を守る県政へ転換が必要としている。そして、大澤氏は現役の医師で協会理事であり、医療政策や社会保障政策について十分な見識をもっていることはもちろん、「国民医療の充実」を掲げる協会執行部の一員として活動の先頭に立ってきたとし、無所属での立候補であり、広範な県民の支持を得る条件があるとして、歯科部会・各支部の賛同を得、政策協定を結んだうえで、理事会として支持推薦を行うとしている。

尼崎支部は9月19日の幹事会で推薦を確認した。10月12日、理事会終了後、大澤氏と政策協定に調印した。

・選挙活動は有志の会で

方針では、協会として支持推薦を行うものの、個々の会員の思想・信条・政治活動の自由を保障する立場から、選挙活動は協会とは別に有志の会で行うとしており、有志の会への賛同を呼びかける。



【おおさわ よしきよ】
1963年岸和田生まれ。91年兵庫医科大学卒業。尼崎医療協病院院長、兵庫県保険医協会理事、兵庫県保険医協会尼崎支部幹事、兵庫県民主医療機関連合会会長



ホームページ



X (旧 Twitter)



YouTube

健康と医療について語り合う会・感想文

尼崎支部は、9月11日に杉の子保育園で、健康と医療について語り合う会「おしえて！こどもの病気！」を開催し、保護者と保育士14人が参加した。尼崎市内の「杉の子育てる会」の講師派遣の要請に応え、尼崎支部が運営に協力した。高原周治先生（高原クリニック）が講師を務めた。参加者の感想を紹介する。

気になるこどもの病気 聞いてよかった！

尼崎にある杉の子保育園は、ひとりの子どもと保育士の共同保育所から始まり、今年で56年を迎えました。

杉の子保育園には、保護者・卒園児保護者・職員で「杉の子育てる会」を作り、保育園を良くしていこうとしています。

毎年、育てる会の中で学習会を計画していて、今回は保護者の方から、病気のことを



参加者からの質問に丁寧に回答する高原周治先生

より知りたいと声上がり、保険医協会にお願いし、南武庫之荘にある高原クリニックの高原周治先生に来ていただいて、お話を聞くことが出来ました。

はじめに秋から冬にかけての病気をお聞きし、その後は、参加者からの質問タイムです。「子宮頸がんのワクチンは打った方がいい?」「熱はないけど、鼻水・咳が出ている時でも小児科に行った方がいい?」「熱性けいれんの時の座薬を入れるタイミングは?」など、子育てしているなかで経験する病気に関わる質問がたくさん出て、ひとつひとつ丁寧に答えさせていただきました。

保護者の方から「ネット情報でない“実際のところ”を聞いてよかった」「ざっくりばらんに医者様にお話しできる貴重な機会でした」「子どもがよくかかる病気について教えていただき勉強になりました」と感想が寄せられました。

私自身もわかっているようで、わかっていたことが多く良い学びになりました。保険医協会の「健康保険証を残してください」署名を、保護者・職員に声をかけて集めていきたいと思えます。【杉の子保育園 大城多江子】

※このあと79筆のご返信いただきました。

— 第601回幹事会だより —

9月19日(木) 於：尼崎市医師会館会議室

○ 尼崎支部の会員数

9/1 現在 医科372人、歯科170人

○ 医療をめぐる情勢と運動対策

今後の支部企画について医療と福祉を考える会、そして兵庫県知事選にあたっての開業保険医の重点要求案を討議し、支部として大澤芳清先生への推薦を確認した。

○ 10月日程 10月17日(木) 16:00～ 尼崎医師会館会議室

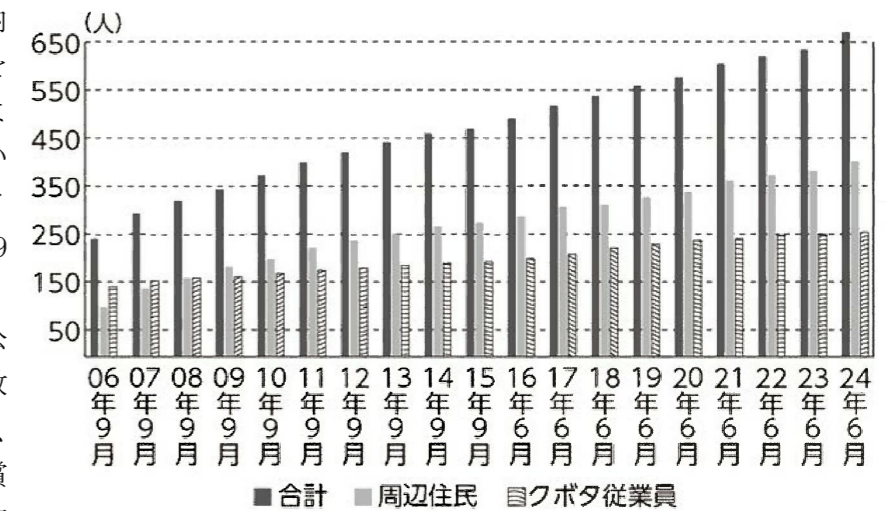
お問い合わせはTEL 078-393-1840 林・沖野・石本まで

「クボタショック」から19年 尼崎市内のアスベスト被害者が増加

無料相談のご利用・ご案内を

2005年6月に尼崎市内の(株)クボタ旧神崎工場を中心に、アスベストによる健康被害が広がっていることが報道された「クボタショック」から19年目を迎えている。

8月7日にクボタが公表した周辺住民への「救済金」支払いは404人で、クボタ従業員への補償257人と合わせると、被害者は661人に達している。



＜増え続けるクボタによるアスベスト被害者＞

とりわけ「救済金」は、2021年以降一桁の増加だったが、この1年間だけで18人となった。

尼崎市におけるアスベストによる被害は拡大の一途をたどっており、3月に尼崎市が開いたアスベストセミナーでは、尼崎市の人口当たりの中皮腫死亡率は全国と比較して5～10倍と報告されている。

クボタによる「救済金」は、同社のアスベストによる被害との因果関係を認めずに、「道義的責任」として独自の基準を設けているもので、申請しても認められない被害者もいる。

アスベストは潜伏期間が20～50年と長く、今後も発症する被害者が増加すると予測されており、すべての被害者への救済が急務である。

協会尼崎支部が参加する「アスベスト被害からのちと健康を守る尼崎の会」は被害者や家族に対する相談活動を継続するとともに、危険性を認識しながらアスベストの使用を続けた企業と、使用を推進してきた国の責任を明確にすることを求めている。

※アスベストによる健康被害を心配される患者さんがおられましたら、下記の相談会や電話相談をご案内ください。

＜アスベスト被害から「いのちと健康を守る尼崎の会」無料相談会のご案内＞

日 時：10月19日(土) 13:00～16:00

場 所：潮江診療所(尼崎市下坂部1-7-7 TEL:06-6499-4213)

アクセス：バス停「下坂部」徒歩2分、JR尼崎駅徒歩15分、駐車場あり

日常的に電話相談も受け付けています TEL:06-6489-2600